

当該年度のコンテストにあっては、愛知県庁との共同募集を行ったことから、募集内容・応募様式等が異なりますので、ご注意のうえ、お取り扱いください。

令和6年1月10日



学生がつくる愛知県の着地型旅行プランコンテスト 受賞作品の発表



一般社団法人 全国旅行業協会は、「第18回 国内観光活性化フォーラム in あいち」開催事業の一環として、「観光まちづくりアワード」（主催：愛知県）との共同募集により「学生がつくる愛知県の着地型旅行プランコンテスト」を実施しました。本コンテストは、愛知県在住の高校生以上で学校に在籍する学生を対象とし、44作品（86名）の応募がありました。

応募作品については、昨年12月22日に審査会（委員長：一般社団法人 愛知県観光協会 専務理事 榊原 仁 氏）を開催し、厳正な審査を行い、下記のとおり受賞作品を決定しました。

👑マークは、愛知県が実施した「観光まちづくりアワード」の受賞4作品となります。

記

（敬称略）

【最優秀賞：1組】

- ・「花の王国あいちで花の魅力を知ってもらい、ロスフラワーの削減につなげよう！！」👑
中京大学 今井ゼミ（青柳 佳史乃、磯谷 陽菜、清水 亜紗実）

【優秀賞：2組】

- ・「『明るいダークツーリズム』による産業観光-愛の地（あいち）で戦争の闇に明るい光を照らそう-」👑
椋山女学園大学 現代マネジメント学部 水野英雄ゼミ（高橋 華、坂根 璃胡、角田 遥彩、二ノ宮 杏璃、野田 歩実、松田 成未、武藤 愛佳、山下 美並、山田 麗香）
- ・「可愛いで地球を救おう！ラーケーションツアー」👑
愛知淑徳大学 林ゼミ（畔柳 心、春日井 杏奈、小倉 瑠南、間瀬 百々花、中谷 さくら、石倉 佳奈）

【特別賞：3組】

- ・「愛知の海の豊かさを実感する離島3島を巡る旅」
金城学院高等学校 （廣瀬 実玖）
- ・「IKD ～イン飛島村 かわくだり だいさくせん～」👑
名古屋市立大学 人文社会学部 現代社会学科 三浦ゼミ（田中 優斗、伊藤 安珠、上杉 さくら、河原 紬希、酒井 莉子、佐藤 紗良、志水 万里菜、長井 柊策、中子 穂乃佳、細江 唯月）
- ・「泊って学ぶ！地元企業とSDGs ～愛知の未来を支える者たちへ～」
中京大学 坂田隆文ゼミ（竹内 萌恵、上久保 百華）

【学校賞】

- ・名城大学附属高等学校の皆様（28名）

< 本件に関するお問合せ先 >

一般社団法人 全国旅行業協会 着地型旅行プランコンテスト係
TEL：03 - 6277 - 8310

当該年度のコンテストにあっては、愛知県庁との共同募集を行ったことから、募集内容・応募様式等が異なりますので、ご注意のうえ、お取り扱いください。

第18回 国内観光活性化フォーラム in あいち 関連事業

【ANTA × 愛知県】

ANTA「学生がつくる愛知県の着地型旅行プランコンテスト」 受賞作品の紹介

（一社）全国旅行業協会では、「第18回 国内観光活性化フォーラム in あいち」の開催に当たり、「学生がつくる愛知県の着地型旅行プランコンテスト」を実施しました。本コンテストは、愛知県が実施する「観光まちづくりアワード」との共同募集により、愛知県内在住の生徒・学生を対象に、歴史・産業・工芸・自然・食・文化・祭り・伝承行事・癒しなど、県内の観光素材・観光スポットを旅行行程に盛り込んだ「着地型旅行プラン」を募集し、44作品（89名）から応募がありました。

応募作品について、令和5年12月22日に審査会（委員長 （一社）愛知県観光協会 専務理事 榎原 仁 氏）を開催し、厳正な審査の結果、下記のとおり受賞作品が決定されました。

《受賞作品》

（敬称略）

※につきましては、愛知県が実施する「観光まちづくりアワード」の受賞4作品となります。



最優秀賞：1組

花の王国あいちで花の魅力を知ってもらい、ロスフラワーの削減につなげよう！！

中京大学 今井ゼミ （青柳 佳史乃、磯谷 陽菜、清水 亜紗実）



優秀賞：2組

「明るいダークツーリズム」による産業観光

-愛の地（あいち）で戦争の闇に明るい光を照らそう-

椋山女学園大学 現代マネジメント学部 水野英雄ゼミ
（高橋 華、坂根 璃胡、角田 遥彩、二ノ宮 杏璃、野田 歩実、松田 成未、武藤 愛佳、山下 美並、山田 麗香）

可愛いで地球を救おう！ラーケーションツアー

愛知淑徳大学 交流文化学部 林大策ゼミ（畔柳 心、春日井 杏奈、小倉 瑠南、間瀬 百々花、西垣 みずほ、中谷 さくら、石倉 佳奈、安達 莉那、北村 花鈴、脇谷 藍衣）



特別賞：3組

愛知の海の豊かさと危機を実感する離島3島を巡る旅

金城学院高校（廣瀬 実玖）

IKD ～イン飛島村 かわくだり だいさくせん～

名古屋市立大学 人文社会学部現代社会学科 三浦ゼミ（田中 優斗、伊藤 安珠、上杉 さくら、河原 紬希、酒井 莉子、佐藤 紗良、志水 万里菜、長井 柊策、中子 穂乃佳、細江 唯月）

泊って学ぶ！地元企業とSDGs～愛知の未来を支える者たちへ～

中京大学 坂田隆文ゼミ（竹内 萌恵、上久保 百華）

学校賞

名城大学附属高等学校の皆様

《審査員》

（一社）愛知県観光協会 専務理事 榎原 仁

第18回 国内観光活性化フォーラム in あいち 本部実行委員長 近藤 幸二
// 地元実行委員長 森川 雅史

（株）全旅 代表取締役社長 中間 幹夫

《募集テーマ》

SDGsな旅であいちを楽しもう！



審査会（令和5年12月22日）



最優秀賞

この作品は、「花と触れ合うリフレッシュ旅」として、愛知県にある「観光資源」と愛知が生産量全国1位を誇る「花」を掛け合わせ、花の成長から、花の取引、花が実際に使用されているところまでの一連の流れを1泊2日で学び、愛知県の名産品である花や、伝統工芸体験を楽しんでもらえるようなプランとなっています。

作品名

花の王国あいちで花の魅力を知ってもらい、ロスフラワーの削減につなげよう！！

エリア 南知多町、常滑市、豊明市、豊橋市、田原市 旅行日程 1泊2日



ポイント① 「花づくしの1泊2日」

花の魅力を花畑といった景観を楽しむ自然型観光だけではなく、「体験」「見学」「食事」「宿泊」など多方面で、随所に「花」を感じてもらうツアー行程となっている。

ポイント② 「花の王国の認知度向上とフラワーロスの削減」

花の生産量全国1位の愛知県の強みと、「観光」を掛け合わせて、花の王国の認知度向上と花の魅力を伝えることで、「フラワーロス」の削減につなげる。ロスに着目することで、SDGsの12番「つくる責任 つかう責任」の取組に関連し、フードロスなど幅広い「ロス」問題に理解・意識してもらうきっかけづくりになる。

【1日目】

- ①南知多町の「観光農園花ひろば」を訪れ、四季折々の花を楽しむ。
- ②古民家スペース iwanoに併設されている「まわるカフェ」で昼食。
店内家具すべてが再利用からなるもので構成されており、SDGsの取組を行っている。
- ③「TOKONAME STORE」にて愛知県の地場産業である「常滑焼」の陶芸体験。
- ④常滑市のカフェ「ケディバシュカン」にて、ドライフラワーに囲まれ休憩。生花以外の花の良さを感じる。
- ⑤12種類の花をコンセプトとした客室の「ホテルウィングインターナショナルセレクト名古屋栄」にて宿泊。

【2日目】

- ①鉢花の取引が日本一を誇る市場である「愛知豊明花き地方卸売市場」に訪れて、花の取引を見学。
- ②豊橋市の「十勝庵」でエディブルフラワーを使用した「豊橋カレーうどん」を食べる。
- ③「のんほいパーク」で花を含めた幅広い植物を楽しみ、生産量全国1位を誇る田原市にある観葉植物を販売する。
- ④「あかばねロコステーション」に移動。
- ⑤「Hana・花」に訪れ、ツアーで花に興味を持った人たちがすぐに購入できるようにする。



のんほいパーク



優秀賞

この作品は、戦争や災害という暗いテーマを扱う「ダークツーリズム」を愛知県の産業観光の一部として取り入れ、その他のテーマと組み合わせることで「明るいダークツーリズム」を実現し、愛知県への教育旅行を誘致するようなプランとなっています。

作品名

「明るいダークツーリズム」による産業観光-^{あいち}愛の地で戦争の闇に明るい光を照らそう-

エリア 名古屋市、知多市・半田市・常滑市、豊川市・豊橋市

ポイント①

ダークツーリズムを愛知県の産業観光の一部として取り入れることで「明るいダークツーリズム」を実現し、教育旅行を誘致する。

ポイント②

ダークツーリズムは、戦争や災害という暗いテーマを扱うため、なかなか足を運びにくいですが、その他のテーマと組み合わせることで訪問しやすくなる「明るいダークツーリズム」として提案し、愛知県を平和学習の対象とすることで、教育旅行の訪問客を増やし、愛知県への理解を深めることを目指す。

ポイント③

「明るいダークツーリズム」によって、SDGsの「4.質の高い教育をみんなに」、「8.働きがいも経済成長も」、「9.産業と技術革新の基盤をつくろう」、「11.住み続けられるまちづくりを」、「16.平和と公正をすべての人に」を実現する。



豊川海軍工廠平和公園

ツアー行程

【名古屋市コース（三菱重工大江時計資料室とその周辺）】

①三菱重工大江時計資料室→②名古屋港水族館→
③名古屋クルーズ（ガーデンふ頭乗船→金城ふ頭下船）→④リニア・鉄道館
〈ポイント〉①について、三菱重工航空技術の黎明期でもある大正期から昭和20年代までを展示範囲とし、多くの技術資料を展示している。また、日本初のロケットエンジンを搭載した局地戦闘機「秋水」の復元機も展示されている。①を見学後、②～④を見学・体験することで、教育旅行に適したコースとなる。

【知多・半田・常滑コース（半田赤レンガ建物とその周辺）】

①INAXライブミュージアム→②常滑やきもの散歩道→③新美南吉記念館→
④半田赤レンガ建物→⑤ミツカンミュージアム→⑥半田運河
〈ポイント〉知多・半田・常滑は名古屋市に近く、製造業の工場が多くある地域であり、このコースでは半田赤レンガ建物を戦争の遺構とする。

【豊川・豊橋コース（豊川海軍工廠（こうしょう）平和公園起点）】

①豊川海軍工廠（こうしょう）平和公園→②豊川市ジオスペース館→③豊川稲荷→
④のんほいパーク
〈ポイント〉豊川海軍工廠は、海軍の航空機や艦船などが装備する機銃とその弾丸の主力生産を担った巨大兵器工場であった。
終戦間近に米軍機の爆撃を受け、2500名以上の尊い命が奪われた。
平和交流館には工廠関係の説明パネルや写真パネルなどの資料が展示されており、当時の状況を実感できるよう、工夫されている。

当該年度のコンテストにあっては、愛知県庁との共同募集を行ったことから、募集内容・応募様式等が異なりますので、ご注意のうえ、お取り扱いください。

優 秀 賞

この作品は、海洋プラスチックごみの回収と活用策を「ラーケーション」という新たな観光施策の取り組みを活かした周遊・滞在型の観光プランとなっています。

作品名

可愛いで地球を救おう！ラーケーションツアー

エリア 常滑市、西尾市佐久島 想定期間 春・秋の土日開催及び3月・9月の平日開催



可愛いで地球を救おう！

ポイント①

海洋プラスチックアクセサリーの制作によって環境問題を考察し、このワークショップをメインとした「海+ものづくり+環境学習」の要素を盛り込んだツアープランである。

ポイント②

「可愛い」モノを作って地球環境を学ぶこのツアーには、老若男女が参加することができるプログラムであるが、「ラーケーション」という新たな観光施策を取り組みを活かしたプランである。

ポイント③

このツアーを通して、SDGs目標の「11.住み続けられるまちづくりを」、「13.気候変動に具体的な対策を」、「14.海の豊かさを守るう」を実現する。

【ツアー時間及び行程】

- ・10:00から15:00までの5時間程度(昼食休憩1時間を含む)
- ・昼食付きのツアー以外は、お弁当を持参
- ・現地までの往復時間は除く

①集合場所にて「海洋汚染問題」についての学習

- ・紙芝居方式等での説明と参加者のみなさんとやり取りしながら学ぶ
- ・スタッフはさかなクンのような扮装で登場

②海岸での海洋ゴミ拾い

- ・安全面での注意を説明(手袋などの着用)
- ・拾った海洋プラゴミを数量や重量で競うコンテスト形式で行い、ゴミ拾いのモチベーションを高める。優勝者には簡単なプレゼントも用意
- ・ごみ袋もおしゃれなモノで統一するなど海洋ゴミ拾い自体も演出
- ・海岸に海洋ゴミが少ない場合は、事前に当該地区で拾い集めた在庫の海洋ゴミを使用(ツアー参加者に事前に説明)

③拾ったゴミの洗浄、分別

- ・ワークショップ会場(もしくは海岸近く)でゴミの洗浄、分別をする。

④海洋ゴミを素材とした「海洋アクセサリー」の制作ワークショップの実施

- ・イヤリングや指輪の制作

⑤オプション:地域の名物弁当と地域課題の講演

特 別 賞

佐久島、日間賀島、篠島の愛知県離島3島を巡るという魅力で島のファンを増やし、海と接する時間を持つことで、海洋汚染という問題意識を持てるプランとなっています。

作品名

愛知の海の豊かさと危機を実感する離島3島を巡る旅

エリア 佐久島、日間賀島、篠島



佐久島(イメージ)



佐久島(イメージ)

ポイント①

西尾市の佐久島、南知多町の日間賀島と篠島といったように行政区域が異なり1日で3島を楽しむことができないところに、巡回船を導入する。愛知県の離島3島を一気に回れるようになることで、往来する観光客の増加が見込める。

ポイント②

各島それぞれにスポット、アート、海、食べ物、釣り、ウォーキング、動物との触れ合いなど、独自の魅力が沢山あり、毎回テーマを決めることによって、3島食べ歩き、3島をウォーキングコンプリート、3島での釣れる時間によって釣り場の変更など、島の魅力を知ってもらいリピーターを増やす。

ポイント③

SDGsの「14.海の豊かさを守ろう」、「15.陸の豊かさを守ろう」に関連するツアー行程となっている。

【巡回船のコース】

佐久島(東港)→⑩→篠島→⑩→日間賀島(東港)→⑤→日間賀島(西港)→⑩→佐久島(西港)→⑤→佐久島(東港)→篠島→⑩→日間賀島(東港)・・・

- 一色港からも河和港からも、師崎からも、伊良湖港からも3島すべてを巡ることができる。
- 電車で行ければ、一色港、河和港、伊良湖港で往路と復路で異なるルートで家に帰ることができる。

特 別 賞

この作品は、ポストコロナにおける観光需要の増加に対応し、家族・子供たちの非日常体験を可能とするとともに、文化(筏師・筏)×環境(水・海洋資源活用)×体験のプランを楽しみながら伝統・環境について学ぶプランとなっています。

作品名

IKD ～イン飛島村 かわくだり だいさくせん～

エリア 飛島村 想定時期 7～8月の土日(2週間に一度)

ポイント①

飛島村は名古屋市に隣接し、名古屋駅から車で約30分とアクセスしやすいが、田園風景や豊かな水資源や自然が豊富にあるという特徴がある。山奥でしか体験できないことが多い「筏下り」が名古屋近郊で体験できる。

ポイント②

ポストコロナにおける観光需要の増加に対応し、家族・子供たちの非日常体験を可能とするともに、「筏」を飛島村の新シンボルにして、筏師文化の継承・保全に寄与する。

ポイント③

筏師が全国的に稀少な存在であること、飛島村に拠点をもつ企業に「名古屋港筏師(いかだし)一本乗り」を行う筏師が在籍していることから、観光の題材として取り上げにくい「筏師」を中心テーマとし、「筏」について主体的に学ぶことができる機会を飛島村で提供する。

ポイント④

SDGs項目の4、11、12、14、17に関連する旅行プランとなっている。

プ ロ グ ラ ム	13:00	①筏師の講話
	13:45	②筏の作製
	15:10	③筏師の一本乗り見学
	15:30	④筏川で川下り体験
	17:30	終了

【プログラムのポイント】

①筏師の講話(場所:飛島村公民館会議室)

筏師についての歴史や文化・現状について、当日の流れや筏の作り方についても交えながら、実際に筏師として働く方のお話を聞く。

②筏作り(古政公園)

筏師が所属する「名古屋港木材倉庫(株)」と連携し、廃材となる木材を使用。浮きには、飛島村に広がる「藤前干潟」で、春と秋の年2回「藤前干潟クリーン大作戦」という清掃活動において集められた海洋ゴミを利用。環境に配慮しながらもオリジナリティ溢れる筏作りを楽しんでもらう。

③筏師の一本乗り見学

伝統的な技術である筏師の一本乗りという一般的に認知度が高いとは言えない筏師の文化について、講話に加えて実際に見学

④筏川で川下り体験

一本乗りを見学後、家族ごとに分かれて各々が作った筏に乗り、タイムアタック形式で順位を競う。タイム計測は一定間隔に配置した係員が行い、タイムで順位をつける。家族での協力が不可欠であり、筏に乗る非日常性とともに家族での時間を楽しんでもらう。

特 別 賞

この作品は、「地元企業とSDGs」をテーマとし、実際に地元企業へ訪問して工場見学などの「直接体験」を含む宿泊研修を学校行事として実施することで、愛知県が抱える人口の転出超過の課題を解決するためのプランとなっています。

作品名

泊って学ぶ! 地元企業とSDGs～ 愛知の未来を支える者たちへ～

エリア 名古屋市、安城市、豊田市、刈谷市、半田市、知多市 旅行日程 1泊2日

ポイント①

高校生(学校)向けに、地元企業とSDGsについての理解を深めることができる1泊2日の宿泊研修を提案することで、愛知県が抱える人口の転出超過の課題を解決する。

ポイント②

地元企業への訪問を通して、地元企業の良さや、普段関わることのない地域や施設に足を運ぶことからその地域への興味関心の高まりが期待できる。

ポイント③

宿泊先での体験学習を通して、学校生活ならではの思い出と共にSDGsに関する理解をさらに深める体験をする。

ツ ア ー 行 程	【1日目】		【2日目】	
	・各学校から出発		7:00	起床・朝食
	10:00 ブラザーミュージアム (移動時にバス内で昼食)		9:00	出発
	↓		10:30	アイシンコムセンター (移動時にバス内で昼食)
	12:00 デンソー高棚製作所		↓	ミツカンミュージアムMIM
	↓		12:30	↓
	16:00 旭高原自然の家、野外教育センター ・エコ飯炊飯 ・入浴 ・キャンドルづくり体験		15:00	知多火力発電所・知多電力館
	↓		↓	学校到着
	22:00 消灯			



ブラザーミュージアム



ミツカンミュージアム MIM